

# 信州環境パートナーシップだより

# 環境たまき

vol. 106



信州エコポスターコンクール 2022  
中学生の部 優秀作品  
佐久市立中込中学校 2年 山口 紗瑛さん

- ★信州環境フェア2023「Action for ゼロカーボンフォーラム」が開催されました
- ★令和5年度環境保全活動功労者知事表彰の表彰式が執り行われました
- ★エコロジィー掲示板
- ◎10月は3R推進月間（全国統一）  
長野県は4Rの推進でごみの減量に取り組みます



## 環境キーワード解説

## 『水素エネルギー』

水素エネルギーとは、水素が燃焼した際に発生するエネルギー源のことをいい、利用時にCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギーであり、燃料電池自動車（FCV）などで利用が推進されています。

その製造方法の違いによって、色分けした名称が付けられており、製造過程でCO<sub>2</sub>が大気中に排出される水素のことを「グレー水素」、CO<sub>2</sub>が大気中に排出される前にCO<sub>2</sub>を回収・貯蔵して製造する水素のことを「ブルー水素」、再生可能エネルギーを利用して作る水素のことを「グリーン水素」といいます。

特に、「グリーン水素」は、製造時にもCO<sub>2</sub>を排出しないことから、環境負荷を低減できるエネルギー源として注目されています。

政府は、令和5年6月6日に「水素基本戦略」を6年ぶりに改定し、今後15年間で官民合わせて15兆円を投じて水素サプライチェーンを構築する計画を打ち出すなど、普及拡大を支援する方針です。



# 信州環境フェア2023

## 「Action forゼロカーボンフォーラム」が開催されました

第22回目となる「信州環境フェア」が7月29日（土）に長野市役所・長野市芸術館で開催されました。

### トークイベント

信州大学農学部准教授の伊原正喜先生の基調講演では、太陽エネルギーを利用して、二酸化炭素を食品やプラスチックに変える「カーボンリサイクル」について、自然と人との対立や共生をテーマとしたアニメ映画を題材にしながら、わかりやすくお話をいただきました。

また、ノルディック複合スキー選手の渡部暁斗選手をゲストに招き、個人アスリートとして、温室効果ガス排出量実質ゼロに挑むことをテーマに講演をいただきました。ヘッドスポンサーを「エコパートナー」として募集し、自身の競技活動をカーボンオフセットしたほか、木曾町で植林をした経験に触れ、「自分のしたことは小さなアクションかもしれないが、この活動に興味を持ってくれた人が何か行動を起こしてくれたら嬉しい」とその思いを語りました。その後、同じくノルディック複合で活躍した荻原健司長野市長も講演に加わり、対談を行いました。



そのほか、佐久平総合技術高等学校食品加工部、株式会社Uホールディングス、株式会社帝国ホテルから事例・取組発表をいただきました。



上記イベントの内容はYouTubeで全編無料配信しています。ぜひご覧ください！

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=X4AZWtyHUXo&t=3297s>



### 展示/体験イベント

当県民会議主催の「信州エコポスターコンクール2022」の作品展示や、日産自動車「わくわくエコスクール」などの体験イベントが行われました。また、長野県と沖縄県の交流事業として、サンゴの模型に色を塗りながら沖縄の自然や環境問題を学べるブースが出展されました。



信州エコポスターコンクール2022



日産自動車わくわくエコスクール



沖縄の自然と環境問題

# 令和5年度環境保全活動功労者知事表彰の表彰式が執り行われました

環境保全活動等に功績のあった方々への表彰式が「信州環境フェア 2023」の中で執り行われ、諏訪孝治長野県環境部長より賞状及び感謝状が授与されました。



## 【記念写真（右）】

- 循環型社会形成推進功労者知事表彰受賞者  
(前列左から2名)
- 自然活動功労者知事表彰受賞者 (前列右から2名)
- 諏訪環境部長 (後列中央)
- 滝沢資源循環推進課長 (後列左)
- 池田自然保護課長 (後列右)

## 【循環型社会形成推進功労者知事表彰】

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正処理及び再利用、資源化等の促進、啓発・普及及び指導・教育等に多大な貢献をされており、他の模範となる次の方々を功労者として表彰しました。

(順不同、敬称略)

部門	受賞者名	功績概要
個人・グループ・学校	上條 君守 (松本市)	多年にわたり町会環境衛生部長として住民の模範となり、ごみステーションの管理やごみ分別指導、リサイクルの推進等ごみ減量及び環境美化・緑化の推進に尽力している。
	加賀 幸一 (松本市)	多年にわたり町会環境衛生部長として住民の模範となり、ごみステーションの管理やごみ分別指導、リサイクルの推進等ごみ減量及び環境美化・緑化の推進に尽力している。
	ごみ減量チーム 白馬あーす隊 (白馬村)	刊行物の配布や不用品の回収などによるリサイクルの推進を行うなど環境への負荷低減に取り組んでいる。また、生ごみの堆肥化や環境教育の推進等に積極的に取り組むなど地域の循環型社会形成のために貢献している。
その他	佐藤 文俊 (長野市)	市職員として多年にわたり施設等の維持管理等に携わり、一般廃棄物の適正処理に従事した。現在もこれまでの知識や経験を活かし、後進の指導、育成など循環型社会形成のために貢献している。

## 【自然保護活動等功労者知事表彰】

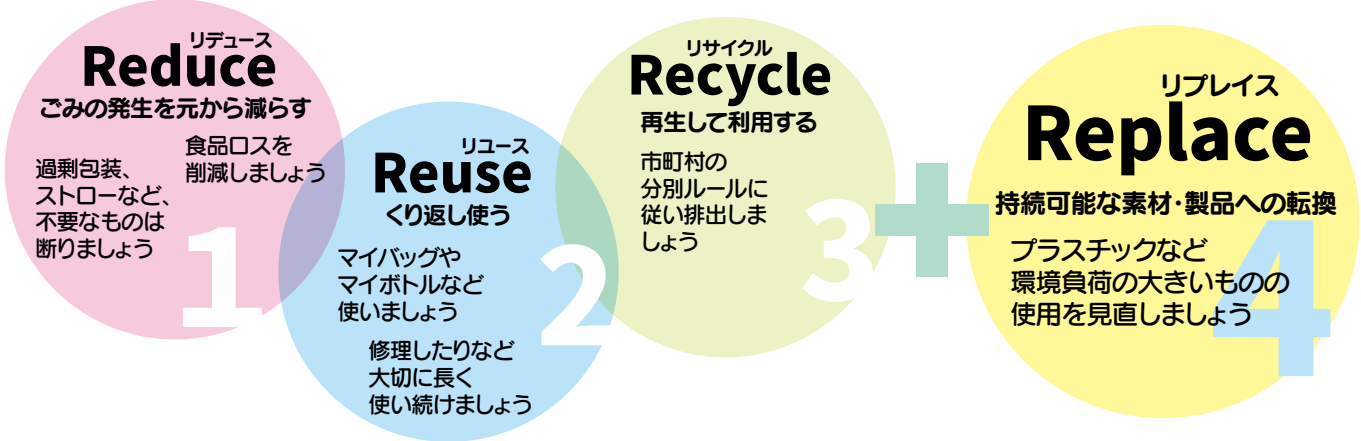
多年にわたり自然保護活動に取り組み、県内の自然及び生物多様性の保全に多大な貢献のあった次の方々を功労者として表彰しました。

(順不同、敬称略)

部門	受賞者名	活動期間	功績概要
長野県自然保護レンジャー	織田 洋二 (安曇野市)	11年間	中部山岳国立公園や妙高戸隠連山国立公園において巡視活動や美化活動などに取り組んでいる。
	北原 秀明 (飯田市)	10年間	南アルプス国立公園や中央アルプス国定公園などにおいて巡視活動や美化活動などに取り組んでいる。
	佐々木達人 (松本市)	11年間	中部山岳国立公園において高山植物の保護や巡視活動に取り組んでいる。
自然観察インストラクター	田中 清司 (松本市)	21年間	季節に応じた自然の魅力や山菜の解説など豊かな知識を活かした観察会を実施することで、環境保全の啓発に取り組んでいる。

**10月は3R推進月間(全国統一)**  
**長野県は 4R の推進でごみの減量に取り組みます** **4R**

3R（ごみを減らす、繰り返し使う、再生して利用する）に、使い捨てプラスチック製品等から持続可能な環境にやさしい素材・製品への転換という意味の「リプレイス」を加えた「4R」で長野県は循環型社会の実現を目指します。



**チャレンジ800ごみ減量推進事業**

**海洋プラスチックごみ削減**  
 信州プラスチックスマート運動

**食品ロス削減**  
 食べ残しを減らそう県民運動  
 ～e-プロジェクト～

海なし県から考える



**協理事業者 随時募集中**  
 詳しくはこちら



10月は食品ロス削減月間

- ① 意識して「選択」
  - ② 少しずつ「転換」
  - ③ 分別して「回収」
- 3つの意識**した行動で一人ひとりができることを考えます。

**残さず食べよう! 30・10運動**  
 宴会編・家庭編 実施中!

**もったいない 信州発! キャンペーン**  
 食べるタイミングを考えて「手前どり」

 **長野県魅力発信ブログ「えこすた (Eco Style) 信州！」**  
<https://blog.nagano-ken.jp/recycle/> 

【問合せ先】長野県 環境部 資源循環推進課  
 TEL : 026-235-7181 FAX : 026-235-7259 E-mail : junkan@pref.nagano.lg.jp